

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

「シアトル中学生と交流」



7月5日から2泊3日で、アメリカ合衆国シアトル市から中学生22名と引率の先生4名が来町され、体験活動や日南小中学校の児童生徒と交流を行いました。

5日の午後に生山駅に到着し、すぐに多里の常福寺で「座禅体験」を行いました。座り方や手の合わせ方等を教わり、約20分間の本格的な座禅を体験しました。その後、抹茶と和菓子を食べてもらい、日本の文化をしっかりと感じてもらいました。

6日には、株式会社オロチを見学し、日南町の林業についても関心をもってもらいました。その後、小学校との交流に参加し、七夕飾りづくりを一緒に行いました。短冊に願い事を書き、笹に取り付けたり、「たなばたさま」の歌を一



緒に歌ったりしました。英語が分からない小学生も日本語やジェスチャーを交えながら、コミュニケーションをとろうとしていました。

午後には中学生との交流を行いました。歓迎会では、日南中の代表生徒による挨拶と日南中の全生徒による「ふるさと」の合唱が行われ、和やかな雰囲気での交流がスタートしました。

給食を一緒に食べた後、折り紙と習字、日本の伝統的な遊びを通して、日本の文化に親しみながら交流を行いました。徐々に緊張もほぐれ、笑顔もたくさん見られました。部活動交流では、初めて体験する活動に少し戸惑いながらも、日南中の生徒から一つ一つ丁寧に教えてもらい、楽しく活動を行いました。

この交流を通して、子どもたちの英語や外国に対する興味関心は一層高まったようです。この経験を今後の生活にどう生かしていくのかとても楽しみです。



にちなん子ども応援隊だより

No. 63

こんにちは。

6月も、定例的なものの他、小1の「グリーンピース(給食のグリーンピースご飯の材料)の皮をおこす」、新体力テスト、中3の社会科(歴史)、読み聞かせ等で多くのボランティアの方にお世話になりました。ありがとうございました。

今回は、小1と中3の学習支援の様子について紹介いたします。

前者は、グリーンピース生産者の七瀬寿恵さんに収穫までの苦労や思いを聞いたり、グリーンピースの成長過程を学習したりした後、皮むきをしました。次の日、給食後にグリーンピースご飯の感想を聞くと、口々に「おいしかったあ」と答えていました。自分たちが準備したグリーンピースの味はひとしおでしょう。



後者は戦争体験者から「戦時下のくらしの様子や思い」等を聞くものでした。ゲストティーチャーは80才後半の男女



2名です。25名の生徒は真剣に聞き入っていました。

後日届いた感想には、「直接聞くことができ良かった、戦争は何も生まない、絶対にしてはいけない、若い世代が語り継いでいきたい、今日の平和を守りたい」等が書かれていました。

貴重な体験を話していただき本当にありがたく思います。生徒の感想を読み、体験した方に直接話を聞くことは、本やインターネットで調べる以上に伝わるものが大きく重たいと感じました。

私たちコーディネーターも戦争体験を語ってくださる方の情報収集に努めています。情報をお持ちの方は、教育委員会に是非ご一報ください。

連絡先 教育委員会 0859-82-1118

コーディネーター携帯 080-5232-7712

